

昭和60年度漁家経営調査 (潜水器漁業モデル漁家)

奥原 哲雄

期間 1月～6月

漁業所得 = 漁業収入 - 漁業支出 = 2,118,613円 - 3,193,96円 = 1,799,217円

漁家所得 = 漁業所得 + 漁業外所得 = 1,799,217円 + 2,590,106円 = 4,399,323円

漁業収入 - 漁業支出 = 漁業所得
(2,118,613円) - (3,193,96円) = (1,799,217円)

(+) 漁家所得 - 租税公課 - 家計費 = 経済余剰
漁業外収入 - 漁業外支出 = 漁業外所得
(2,590,106円) - (0円) = (2,590,106円)

(4,389,323円) - (0円) - (3,699,112円) = 690,211円

注：漁業外支出と租税公課は家計費に組み込まれている。

1. 労働生産性

(1) 労働1日当たり漁業所得 = 漁業所得 ÷ 延労働日数 = 1,799,217円 ÷ 60日 = 29,986円

(2) 従事者1人当たり漁業所得 = 漁業所得 ÷ 漁業従事者数 = 1,799,217円 ÷ 113人 = 15,922円

2. 漁業所得率

(1) 漁業依存度 = 漁業所得 ÷ 漁家所得 × 100 = 1,799,217円 ÷ 4,399,323円 × 100 = 40.8%

(2) 漁業所得率 = 漁業所得 ÷ 漁業収入 × 100 = 1,799,217円 ÷ 2,118,613円 × 100 = 84.9%

(3) 家計充足率 = 漁業所得 ÷ 家計費 × 100 = 1,799,217円 ÷ 3,699,112円 × 100 = 48.6%

3. 漁業純収益率

(1) 漁業資本純利益率 = 漁業純収益 ÷ 漁業投下資本 × 100 = 1,799,217円 ÷ 3,193,96円 × 100 = 56.33%

(2) 漁業収入対純利益率 = 漁業純収益 ÷ 漁業収入 × 100 = 1,799,217円 ÷ 2,118,613円 × 100 = 84.9%

労働生産性の項をみると1月～6月の間に60日漁業に従事し、1日当たりの漁業所得は29,986円。この60日間の延漁業従事者は113人、したがって1人当たりの漁業所得は15,922円となる。

漁業依存度は40.8%、したがって60%ぐらい漁業外所得に依存している。漁業所得率は84.9%、残り15%ぐらいは漁業支出が占めていることになる。漁業所得が家計費に占める割合は48.6%、したがって50%以上漁業外所得が家計費を占めている。

漁業純収益（漁業所得）は投下資本（漁業経費）の約5.5倍、同じく漁業純収益（漁業所得）が漁業収入に占める割合は84.9%、残り15%弱は投下資本（漁業経費）となる。

参 考 文 献

吉田 忠雄（1986），漁家経営と営漁簿の記帳について

山本 辰義（1985），漁業経営論

片岡 義雄（1963），財務諸表論

貸借対照表
(家計(1月~6月)業商器水畜)

単位：千円

借 方				貸 方			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	期 首	期 末	増△減		期 首	期 末	増△減
現金、預金	1,576	2,657	1,081	系統借入金	2,650	1,620	△1,030
売掛、未収金	120	0	△120				
船 舶	2,403	2,106	△297	元 入 金	3,847	4,178	331
漁具、機材	598	568	△30				
その他の資産	1,800	1,967	167	当期利益金		1,502	1,502
合 計	6,497	7,300	803	合 計	6,497	7,300	803

損益計算書 (1月~6月)

科 目	金 額
収 入	
水揚高	2,118,613
合 計	2,118,613
販 売 経 費	
手数料	90,508
運賃	1,459
箱代	5,400
水代	19,650
漁撈経費	109,000
特別経費	
減価償却費	333,000
雇用経費	58,080
支 出 合 計	617,097
当期利益金	1,501,516
家 計 費	3,746,379
純 利 益	△2,244,863

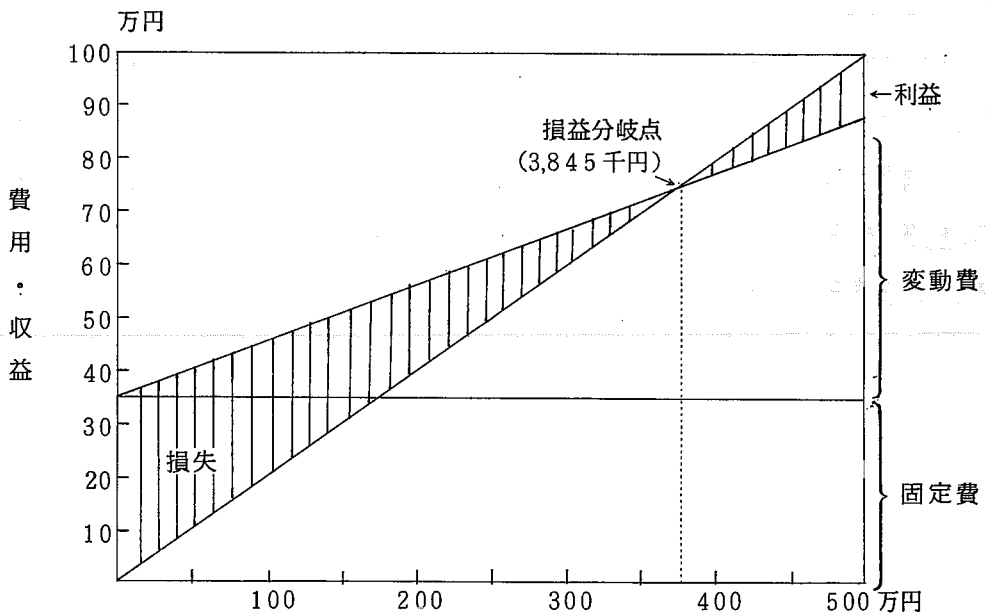
当期利益金 1,502千円
 系統借入金返済(-) 1,030
 472
 減価償却費(+) 333
 805
 現金、預金へ(+) 1,081
 1,886
 家計費(-) 3,746
 △ 1,860

損 益 分 岐 点

前ページの損益計算書において固定費と変動費をわけると下表のようになる。

単位：千円

(収 入)	水 揚 高	2,119	固 定 費	変 動 費
(支 出)	手 数 料	91		91
	運 賃	1		1
	箱 代	5		5
	水 代	20		20
	ポンベ代	109		109
	減価償却費	333	333	
	雇用経費	58		58
	支 出 計	617	333	284



$$\text{固定費 } 333 \div \frac{\text{水揚高 } 2,119 - \text{変動費 } 284}{\text{水揚高 } 2,119} = 3,845 \text{ 千円}$$